

平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

自主・自律を体現して、自己の人生を主体的に切り拓き、社会に貢献することができる生徒を育成する。

- 1 総合力ある教育指導（授業、特別活動、部活動、生活習慣・規範力）ができる学校
- 2 生徒一人ひとりへのきめ細かな指導を行い、学力と進路の保証ができる学校
- 3 地域の信頼を得て、高い志と夢・グローバルな視野を持つ生徒を育むことができる学校

2 中期的目標

1 教員・生徒がともに真摯に学ぶ姿勢を迫及し、授業力を向上させることにより、生徒一人ひとりに寄り添い、思考力・判断力・表現力を伸ばす学習環境を確立する。

- (1) 教科指導力の向上を図り、ICT活用を含め三島スタンダードに沿った学びの深化を推進する。
- (2) 基礎学力の定着を図り、学力向上に資する。
- (3) 主体的に学ぶ意欲・態度を醸成し、家庭学習を推進する。
※授業評価における生徒満足度・・・肯定的評価 80%以上

2 自らの進路実現に向け、粘り強く努力し続けることにより、社会の変化に柔軟に対応し、グローバル社会をリードすることができる生徒を育成する。

- (1) 広い視野で自らの生き方を考え、学習意欲が向上するキャリア教育を推進する。
- (2) 自学自習を推進するとともに、個別指導・講習の充実を推進する。
- (3) 進路情報の共有・保護者への情報提供により、生徒の希望適性に応じた進路実現を支援する。
※国公立大学合格者数・・・現役合格者数；国公立大学 70 人以上（うち京阪神市府大 20 人）
※センター試験受験者数・・・在籍者数の 80%以上

3 体験的な活動（部活動・学校行事・国際交流・地域交流等）をはじめ、あらゆる学習活動を通じて互いの違いを認め合いつつ協力・切磋琢磨する中で、豊かな人間力を育成する。

- (1) 部活動の充実を図るとともに、勉学との両立を推進する。
- (2) 体育祭・文化祭・芸術祭・修学旅行をはじめとする学校行事の活性化を推進する。
- (3) 国際理解教育、ボランティア活動、読書活動、地域交流活動等を推進する。
- (4) 自らを律して他者を思いやり、市民としての公民意識や規範意識を醸成する取組を推進する。
※部活動加入率・・・90%以上
※地域活動・国際理解教育における生徒満足度・・・肯定的評価 70%以上

4 地域・保護者から信頼される安全で安心な学校づくりを「チーム三島」で推進する。

- (1) 創立 50 周年を迎え、広報活動を充実させるとともに、PTA・後援会・同窓会等と一層の連携を推進する。
- (2) 人権教育・教育相談機能の充実を図るとともに、危機管理力の向上を推進する。
- (3) 「学び続ける」教職員の育成を組織的・継続的に推進する。
※新学習指導要領を踏まえた各科目の研究、内規等の整備を行う。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>・生徒；「学校に行くのが楽しい(88%)」「学習評価は納得できる(88%)」「進路についての情報を知らせてくれる(88%)」「先生ははじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる(81%)」などでは高い割合で肯定的な回答をしているが、「三島高校の HP をよく見る(20%)」「自分は図書室をよく利用している(14%)」については、肯定的な回答が 5 割を大きく下回っており課題である。</p> <p>・保護者；「学校に行くのを楽しみにしている(86%)」「地震台風等の対応が生徒保護者に知らされている(84%)」「授業参観・学校行事に参加している(84%)」などでは高い割合で肯定的な回答をしているが、「施設設備は学習環境面で満足できる(42%)」「HP をよく見る(32%)」については、肯定的な回答が 5 割を下回っており課題である。</p> <p>・教員；「国際理解について学ぶ機会がある(89%)」「教材の精選工夫を行っている(87%)」「生徒に関して家庭との連携ができている(84%)」などでは高い割合で肯定的な回答をしているが、「各分掌各学年間の連携が円滑に行われ有機的に機能している(32%)」「経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がある(31%)」については、肯定的な回答が比較的低くなっており課題である。</p> <p>これら複数の課題については、次年度の取組に活かしていきたい。</p>	<p>【第一回 (7/5)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻指導や頭髪・服装指導は働き方改革の観点から教員の仕事から外せればよいのだが、崩れると学びから遠のくので外せないのが実態である。 数値化された評価に対し、○△ばかりに目が行ってしまうことが気かりである。 卒業時に三島ブランド力として身に付いた能力を示せればよいのではないか。 学力の伸びる時期は人によって異なる。学力に限らず伸びる所を伸ばしてほしい。 <p>【第二回 (11/15)】</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンや映像を効果的に使用し、考えさせたり議論をしたりしているのが良い。 遅刻者の早朝登校指導を厳しくしすぎて事故を起こさないよう考慮してもらいたい。 交通マナーについては、弱者に対する気遣いを生徒に教えてもらいたい。 主体的な生徒を育てるため、主体性を評価できる仕組みを整える必要がある。 地域に根付き連携できれば支え合える。小学校との交流は今後とも続けてもらいたい。 <p>【第三回 (2/20)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 50 周年記念式典で行われた卒業生のパネルディスカッションは個性的。その自由奔放さを大切にもらいたい。 生徒・教員とも 10 年先を見据えた人材育成をやってもらいたい。 キャリア教育で大学卒業後のことを詳しく相談できるようにしてもらいたい。 HP で情報発信していることを知らない保護者に存在をアピールする必要がある。 読書離れを止める取組みとして、図書館の場所を工夫したり読書タイムを設けたりするなどの取組が必要ではないか。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 思考力・判断力・表現力を伸ばす 学習環境の確立	(1) 教科指導力の向上 (2) 基礎学力の定着 (3) 家庭学習習慣の定着	(1) ア 外部授業公開・校内授業公開を例年通りそれぞれ実施する。 イ 校内外の研修を踏まえ、教科ごとの教育活動報告会を実施し「三島スタンダード」を充実する。 ウ 校内のICT機器を効果的に活用する。 (2) ア 総合基礎(朝学)PTを中心に科目内容の充実・精選を図る。 (3) ア 「家庭学習記録表」を活用し、家庭における学習習慣を定着させる。	(1) ・授業見学を相互の教科指導に反映する ・生徒の授業満足度における肯定的評価 80%以上 (学校教育自己診断 H30:77%) ・教員のICT活用における肯定的評価 50%以上 (学校教区自己診断 H30:41%) (2) ・総合基礎の生徒満足度における肯定的評価 70%以上 (朝学アンケート H30:60%) (3) ・生徒の家庭学習内容・時間満足度における肯定的評価 50%以上 (学校教育自己診断 H30:44%)	・シートで教科指導に反映(○) ・肯定的回答 77%⇒生徒に応じた授業づくりを推進する(△) ・肯定的回答 47%⇒プロジェクターの活用を推進する(○) ・肯定的回答 66%⇒引き続き内容の精選充実を図る(○) ・肯定的回答 43%⇒記録表活用の改善を図る(△)
2 グローバル社会をリードできる生徒の育成	(1) キャリア教育の充実 (2) 個別指導・講習の充実 (3) 進路情報の共有・活用	(1) ア 広い視野で職業選択を見据え、生徒の進路実現に向けたキャリア指導計画を作成する。 イ 関西大学・大教大との連携活動を継続する。 (2) ア 各教科の講習を実施するとともに、自学自習の推進方策を検討する。 イ 英語4技能を高める授業を進めるとともに、英語検定等の資格取得を推進する。 (3) ア 進路情報の分析を随時実施するとともに、データに基づき生徒の進路希望に応じた指導を行う。 イ 大学入試改革をはじめとする情報を的確に把握するとともに、生徒・保護者にわかりやすく情報を提供する。	(1) ・生徒の進路関連項目における肯定的評価 90%以上 (学校教育自己診断 H30:88%) ・関西大学・大阪教育大学との連携を継続する (2) ・長期休業中の講習を継続する ・英語検定資格取得者の増加 (全員受験のため学校把握分 H30:391人) (3) ・国公立大学現役合格者数の増加 (進路の入試結果報告 H30:55人) ・保護者の進路関連項目における肯定的評価 70%以上 (学校教育自己診断 H30:70%)	・肯定的回答 88%⇒キャリア教育の再構築を行う(△) ・情報の授業に関大生が入込大教大プログラムに生徒2人参加⇒継続して実施する(○) ・夏期講習実施⇒継続(○) ・英検資格 92人⇒受験を働きかける(△)うち準1級2人合格 ・合格者 57人(1クラス減の中健闘した)⇒データを活用して指導を継続する(◎) ・肯定的回答 73%⇒1学期中に保護者説明会を計画する(◎)
3 豊かな人間力の育成	(1) 部活動の充実 (2) 学校行事の活性化 (3) 国際理解教育・地域連携の充実 (4) 公民意識の醸成	(1) ア 勉強と両立して積極的に部活動に参加し、達成感や自尊感情を育む。 (2) ア 体育祭・文化祭・芸術祭等を通じて、自主自律の精神を涵養する。 イ 学校行事を通じて、本校の歴史のうえに新たな伝統を創造する自覚を持たせる。 (3) ア 夏期オーストラリア語学研修等を実施する。 イ 地元小学校との地域交流活動や高槻市各機関との連携を推進する。 (4) ア あいさつが活発になるよう啓発するとともに、時間遵守の大切さを浸透させる。	(1) ・生徒の部活動等と勉強の両立における肯定的評価 60%以上 (学校教育自己診断 H30:59%) ・部活動加入率 90%以上を維持 (部活動調査 H30:1年生 91%) (2) ・生徒の学校行事への取組における肯定的評価 90%以上 (学校教育自己診断 H30:86%) (3) ・生徒の国際理解における肯定的評価 80%以上 (学校教育自己診断 H30:78%) ・生徒の国際交流・地域交流満足度 80%以上を維持 (参加者アンケート H30:95%・89%) (4) ・生徒のルール遵守における肯定的評価 70%以上を維持 (学校教育自己診断 H30:71%) ・遅刻者数の減少 (遅刻統計 H30:2455人)	・肯定的回答 56%⇒進路HRの活用を図る(△) ・加入率 93%⇒新入生歓迎会等の機会を確保する(◎) ・肯定的回答 84%⇒生徒会活動の活性化に取り組む(△) ・肯定的回答 79%⇒留学生や情報発信に機会を設ける(○) ・語学研修参加者アンケートの肯定的回答 95%⇒校内でのフォロー体制を構築する(○) ・肯定的回答 72%⇒引き続き自主的な行動を働きかける(○) ・遅刻者 969人⇒分掌・学年指導を継続する(◎)
4 安全で安心な学校づくり	(1) 広報活動の充実 (2) 人権教育・教育相談機能の充実 (3) 人材育成の推進	(1) ア 生徒の活動や地域連携活動をHPで公開するとともに、組織的に中学校訪問・学校説明会を実施する。 イ 創立50周年式典に向けて、PTA・後援会・同窓会・生徒・教職員一体となりオール三島で連携を進める。 (2) ア カウンセリングマインドを取り入れた指導を組織的に行う。 イ 本校における人権教育の体系化を図る。 (3) ア 校内研修の更なる充実に努め、日常的なOJTの推進を図る。 イ 授業・生徒指導をはじめ教員の専門的知識を研鑽する機会のある方や新学習指導要領を踏まえた指導等について検討する。	(1) ・HPの情報を毎月更新する ・学校説明会参加者数の現状維持 (リフレット配布数 H30:1346人) ・創立50周年記念事業を円滑に推進する (2) ・生徒の教育相談関連項目の肯定的評価の向上 (学校教育自己診断 H30:58%) (3) ・教員の校内研修関連項目の肯定的評価の向上 (学校教育自己診断 H30:38%) ・内規等の検討を行う	・月2回平均更新⇒HPを閲覧する仕掛けを検討する(◎) ・1459人⇒説明会を再構築する(○) ・式典は好評、事業でプロジェクト化完成⇒効果的に授業等で活用する(◎) ・肯定的回答 54%⇒相談室を積極的に周知する(△) ・肯定的回答 57%⇒教職員の資質向上に資する研修を実施(◎) ・規定整備2月完成⇒不断の改善とともに組織を精選する(○)